

ともに

発行：平成29年12月21日
編集：復興政策部地域協働課
電話：95-1111（内線4234）

男性にとっての男女共同参画？

男女共同参画基本法ができた背景には、戦後の男女の法制上の平等に始まり、「女性の差別撤廃」「女性の地位向上」という意味合いが強くありました。

では、男女共同参画とは、女性だけの問題なんでしょうか？

厚生労働省の自殺白書において、「平成28年における日本の自殺者数は、男性15,112人、女性6,776人」と報告されました。男性の自殺者が、毎年女性の2倍以上いるということは御存知でしょうか？

それでは、少しここでブレイク。19世紀に、フランスの社会学者のデュルケムは、「自殺」という個人の行為の原因を、「社会的な環境」に要因があると提起しました。「あれ？自殺って個人の選択でしょ？個人が問題を抱え、それを解決できなかったのでは？」と考える方もいると思います。しかし、個人的な理由だけが自殺の原因であれば、毎年自殺者がいる理由の説明がつかえません。個人的な理由だけでは説明がつかないことに対して、周囲の環境によって自殺に追い込まれているのではないかと考え、以下の4つの自殺類型をだしたのです。

① 集団本位的自殺

（個人と社会との結びつきが強い）

⇒自分が属している集団の絶対的な価値観や同調圧力によって自殺へ至る。

② 自己本位的自殺

（個人と社会との結びつきが弱い）

⇒自分が社会から切り離されていると感じ、生の価値を失うことで自殺へ至る。

③ 宿命的自殺

（社会が個人の欲望を押さえつける）

⇒思想信条・表現の自由が完全に抑圧されることで自殺へ至る。

④ アノミー的自殺

（社会が個人の欲望を抑制しない）

⇒競争社会における不安と挫折、欲望の肥大化、虚無感から自殺へ至る。

社会



ではここで話を戻すと、社会的な「男性らしさの幻想」こういったものが、自らの生を否定する要因となりうるということです。平成28年3月に内閣府・警察庁が発表した、男女別の自殺の原因・動機の調査では、男性は「経済・生活問題」「勤務問題」が女性よりも多いそうです。「男性は家族を養わなければいけない」「男性はお金を稼がなければいけない」「男性は正社員で当たり前」・・・そんな社会的なこうあるべきという鎧が苦しめているのかもしれませんが、また、最近は新たに「イクメン」「家事男」等の新しい重圧も加わっているのではないのでしょうか？もちろん女性にも同じようなことが言えます。ただ、全国ののちの電話相談の相談件数の男女比は、ほぼ1対1です。男性の方が自殺者は多いのに、相談件数はほぼ同じ。「男性は涙なんて見せない」「男性が弱みを見せてはいけない」そんな男性らしさの幻想から他人に相談することができていないのかもしれませんが、男性に向けられた社会的重圧が自殺者数を押し上げている、そんな一面も否定できないのではないかと感じています。

男女共同参画推進事業は、このような性別による固定観念をなくし、それぞれ個人として捉え、一人ひとりの生きやすさを重視するものです。男女共同参画社会とは、「男性=女性」の社会を目指すものではありません。「男性≠女性」は前提条件で、個人の特徴と能力に応じて人権を尊重する社会のことです。

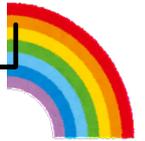
つまり、男女共同参画とは「女性の活躍」「女性の安心安全」だけを推進するものではないということ、男性も女性も、性別という概念に拘らず、一人の当事者の問題として考えていただければ幸いです。

さて、あなたはどんな鎧を着ていますか？





「性的マイノリティ研修」 開催しました



1月20日に、石巻市で初めて「性的マイノリティ研修」を市職員及び関係団体を対象に開催しました。

第1部は、弘前大学助教の山下氏に、性的マイノリティに関する基礎知識から各種法令、社会情勢を講義いただきました。第2部は、石巻市で性的マイノリティの当事者団体を立ち上げた佐々木氏(性別適合手術を受け、戸籍を変更し男性として生活)と山下氏の対談を行いました。奇異な目で見られることを恐れ、家族・学校生活・職場…あらゆる場面において、自分を表現することができなかつたと切実な思いを語っていただきました。佐々木氏の以前の職場において、「あなたは、普通の人と違うからミスをするんだ!」と心無い言葉をかけられたという話もありました。

最後の質疑応答の時間では、「多くの苦難を経験しているが、今の立場(性的マイノリティ)で逆に良かったことはありますか?」という質問に対し、佐々木さんは、「今の状態で良かったっていうのは正直いいってないです。なぜかという、自分がそもそもこうあるべきだと思って生きてきたので、(男性として生活できるようになり) やっと自分になれたというのが、そこにスポッとハマる感じで。」と話し、会場の空気が少し張りつめた気がしました。

最後の質疑応答の時間では、「多くの苦難を経験しているが、今の立場(性的マイノリティ)で逆に良かったことはありますか?」という質問に対し、佐々木さんは、「今の状態で良かったっていうのは正直いいってないです。なぜかという、自分がそもそもこうあるべきだと思って生きてきたので、(男性として生活できるようになり) やっと自分になれたというのが、そこにスポッとハマる感じで。」と話し、会場の空気が少し張りつめた気がしました。

一行政職員として、性的マイノリティだけでなく、様々な少数派の存在を否定することなく、自分の考え方に偏りがなく確認しながら、全体の奉仕者として職務をこなすことの必要性を、痛切に教えていただいた研修でした。



※性的マイノリティ

…性自認(性別に関する自己意識)や性的指向(恋愛対象が誰であるか)に関する少数者の総称。

主な性的少数者を「LGBT」と言い、Lはレズビアン(女性同性愛者)、Gはゲイ(男性同性愛者)、Bはバイセクシャル(両性愛者)、Tはトランスジェンダー(生まれた時に法律的・社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別の在り方を持つ人)をさし、性同一性障害を含む広い概念である。

【石巻市男女共同参画基本計画(第3次)用語の解説より】

oooooooooooooooooooo

男女共同参画 関係用語 ★豆知識★

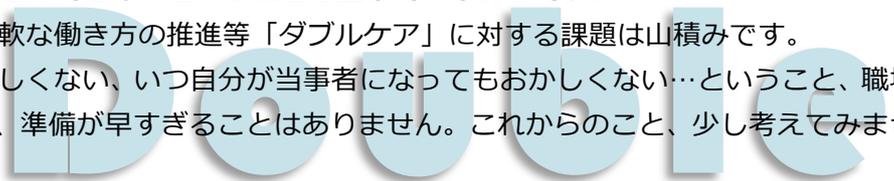


「ダブルケア」とは、育児と親の介護を同時に引き受ける状況を言います。

男女共に晩婚化が進む中、今後ますますダブルケアに直面する方が多くなると言われています。金銭的・制度的な問題もありますが、「子育て」と「介護」の問題が複雑に絡まり合い、それぞれの悩みを並行に持つてしまうため、父親・母親仲間が集まる場では介護の話はしづらく、逆に、介護者が集まる場では子育ての話をしづらく、相談することができないということも生じているようです。

育児介護制度の充実はもとより、柔軟な働き方の推進等「ダブルケア」に対する課題は山積みです。

いつ同じ職場の人が直面してもおかしくない、いつ自分が当事者になってもおかしくない…ということ、職場の理解、自分自身の準備、情報収集等、準備が早すぎることはありません。これからのこと、少し考えてみませんか。



庁内PR

各種審議会・委員会への女性登用率40%以上を目指して

新たな視点を、女性人材リストからみつけましょう



●編集後記● 広報誌ってどんな方が読んでいるのか、どのくらいの人数が読んでいるか、本当に効果があるのかわからないものです。でも、一人でも多くの方が、この広報誌を読んでいただいて、「男女共同参画」について考えていただくきっかけになればいいと思い、字を打ち込んでいます。「男女共同参画」とは、この6文字の漢字では言い表せない、とても奥深く、興味深い内容であるということを日々実感しているからこそ、この熱い思いの詰まった広報誌「ともに」ができあがるんです。 by 台東区派遣

◇今後も、「ともに」を通じて、随時、様々な情報を提供し、男女共同参画社会づくりを啓発していきます。